

No.15 単元計画・学習指導案例（5）（竹原市立竹原中学校）

情報収集・探索能力を育むことを目指した体験的な学習の系統性

総合的な学習の時間 単元「職場体験事後指導」

【竹原市立竹原中学校第2学年】

時期	道徳	教科	総合的な学習の時間	特別活動
9月	「われ、ここに生きる」4-(5)勤労の意義 ※ねらい：働くことの意義を自覚し、進んで世のため人のために尽くし、公共の福祉に貢献しようとする心情を育てる。 【ア、イ、ウ】：人生の先輩たちの話を聞いて、人のために尽くして働く意義を自覚し、自己の進路に生かす。	教科「国語」 単元「意見を相手に伝えよう」 ※ねらい：意見が相手に効果的に伝わるように根拠を明確にし、論理の展開を工夫して書くこと。 【イ】		単元「課題解決学習」 ※ねらい：実際に「働く」ことを通じて、職業や仕事の意義や役割を考え、自分が今準備しなければいけないことについて考える。 【イ】：将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。
10月		教科「技術・家庭」 単元「情報通信ネットワーク」 ※ねらい：情報通信ネットワークを利用して情報の収集、判断、処理、発信ができる。 【イ】：生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し、活用する。	単元「課題解決学習」 ※ねらい：自己目標に対する事業所からの評価から課題を明らかにし、解決するための具体的な方法を考えさせる。 【イ、エ】：体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。	
11月		教科「国語」 単元「ポスターセッションをしよう」 ※ねらい：話の内容や意図に応じて適切な語句を選択し、説得力のある表現で話したり、聞いたりする。 【イ】	単元「職場体験事後指導」 ※ねらい：職場体験で経験したことをまとめて、感じたことや学んだことを表現する。 【イ、エ】：職場体験を通して得た情報を選択・活用し、自己の進路や生き方について考えることができます。	単元「職場体験 地域へ発信しよう」 ※ねらい：多くの事業所の協力に感謝して、職場体験で得られた成果を発表する。 【イ、ウ】発表を聞いてもらい、職場体験の成果と課題について事業所からの意見を聞き、今後の進路選択に生かしていく。

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたい情報収集・探索能力の系統性を示しています。

※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力、【イ】情報活用能力、【ウ】将来設計能力、【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった体験的な学習の授業実践例(中学校)

情報収集・探索能力育成の視点を取り入れた授業

総合的な学習の時間 単元「職場体験事後指導」

【竹原市立竹原中学校第2学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- 職場体験を終えた直後に記録をまとめ、それを利用して、国語で学んだ論理の展開を工夫して書くことを生かして、職場体験レポートをまとめている。
- 職場体験直後の記録を基に、筆者の意見が読む人に効果的に伝わるように根拠を明確にしてレポートをまとめることを通して、情報収集・探索能力を高め、さらに、職場体験で学んだことを生徒に意識化させている。
- 職場体験で成果が見つけられなかった生徒に対しては、キャリア・カウンセリングの機会として捉え、職場体験の成果と課題を明らかにできるよう個別に応じた指導を行っている。

1 学年 第2学年

2 単元名等 総合的な学習の時間「職場体験事後学習」

3 単元（題材）の目標

- 職場体験で経験したことをまとめて、感じたことや学んだことを表現することができる。
- 職場体験で学んだことを、構造的にまとめることができる。
- 職場体験を通して得た情報を選択・活用し、自己の進路や生き方について考えて、職場体験レポートを作成することができる。【情報収集・探索能力】

4 指導と評価の計画（全7時間）

次	学習内容 (時数)	評価					評価方法
		関	考	表	知	評価規準 【キャリア教育の視点】	
1	職場体験直後のまとめ(2)			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 職場体験で経験したことをまとめて、感じたことや学んだことを表現することができる。	観察法(発言), 作品法(ワークシート)
2	レポートをまとめて学んだことを生かす(5) (本時2, 3時間目)	<input type="radio"/> 職場体験で学んだことを、構造的にまとめることができる。 <input type="radio"/> 職場体験を通して得た情報を選択・活用し、自己の進路や生き方について考えて、職場体験レポートを作成することができる。【情報収集・探索能力】	作品法(お札状, ワークシート) 観察法(発言) 作品法(ワークシート)				

5 本時の目標

- 5日間で体験した内容を、論理の展開を工夫して構造的にまとめることができる。
- 職場体験レポートを作成することを通して、職場体験を通して得た情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えることができる。【情報収集・探索能力】

6 本時の指導過程（2時間連続による指導過程の授業である。）

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の授業を想起する。 ○ 「職場体験の記録」を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までに、「竹原市キャリア・スタート・ウィーク」における「職場体験の記録」をまとめたことを確認する。 ・ 本時の目標について板書する。 ・ 本時で作成したレポートは、保護者や事業所に紹介することを確認する。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時でまとめる内容の全体像を把握する。 ○ 1, 2の順にまとめる。 ○ 「3 体験して学んだこと、感想など」についてまとめる。 ○ 「2 個人目標と理由」と「3 体験して学んだこと、感想など」について発表した内容を聞いて、分かりやすい表現のし方を確認する。 ○ 必要な生徒はキャリア・カウンセリングをうける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時でまとめる3つの内容を示す。 <ul style="list-style-type: none"> 1 職場体験する職種を希望した理由 2 職場体験中における個人目標とその目標に決めた理由 3 体験して学んだこと、感想など ・ 「職場体験の記録」を見て、学んだことを振り返らせ、本時では何について書くのか説明する。 ・ ワークシートのまとめ方は、以前国語科で学んだ、文章の構成や論理的な文章の書き方を活用するように説明する。 ・ 「2 個人目標と理由」で記入したことと関連付けて、職場体験前に立てた目標は、具体的にはどのようにすることでだったのかを書く。また、それ目標がどの程度達成できたか、今後、何が課題になるのか等を書くよう指示する。 ・ 分かりやすい表現の工夫がされている生徒に発表させ、その表現の工夫と発表内容を確認する。 ・ 職場体験や、レポートをまとめること等に課題が見られる生徒には、個別にキャリア・カウンセリングを行い、体験したことから何が学べたかをレポートの順に従ってともに考えさせるようにする。 <p>他の教科等における学習と関連付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場体験を通して得た情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えることができる。【情報収集・探索能力】（観察法、作品法） ○ 5日間で体験した内容を、レポートの様式にしたがって構造的に書くことができる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の目標及び学習内容、学習方法を確認する。 ○ 次時の予告をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習が、職場体験を振り返り、職場体験で学んだことを再確認することであったことを確認する。 ・ 本時で書いたレポートをコンピュータを利用して清書することを告げる。 	